

## 接合科学カフェ 第16回「接合科学ベトナム通信」の開催

植原 邦佳

技術部 技術職員

令和5年3月22日(水)にアートエリアB1(京阪電車中之島線『なにわ橋駅』地下1階コンコース)の実来場観覧とオンライン観覧を併用した形式で第16回 接合科学カフェが開催されました。

今回は、接合科学研究所ベトナムオフィスに常駐する勝又美穂子准教授が『接合科学ベトナム通信』と題して講演を行いました。

始めに、GDP・平均年齢・識字率などベトナムを特徴づけるデータと政治に関する基本情報が共有されました。日本と比較して15歳以上若い平均年齢や高い識字率など、今後のベトナムの成長に期待が高まりました。

次に、ベトナムの教育制度が紹介されました。義務教育の制度やその後の進路が説明され、理数系に強く、外国語の習得にも重点を置いているといった特徴が示されました。また、大学の制度や学生の生活についても紹介があり、技術士(大学に5年間通うことで取得可能な資格)という日本にはない進路が示されました。講演中に会場に投げかけられた義務教育にかかる教師の初任給についてのクイズでは、日本の10分の1を下回るという金額に驚きの声があがる場面もありました。

最後に接合科学研究所のベトナムでの取り組みが2つ紹介されました。1つめは、「カップリング・インターンシップ(CIS)」です。CISは、国内外で活動する企業で行われるインターンシップを通して人材育成をすることを目的としたプログラムで国籍や専門の異なる学生がチームとなって1つの課題に取り組むことを特徴とした異文化・異分野融合の実践型教育プログラムです。もう1つは、阪大(OU)接合科学研究所とハノイ工科大学(HUST)機械工学部が中心となり令和5年1月10日に開設した「接合科学研究所 HUST-OU」です。これは、溶接・接合に関する研究拠点が不在であったASEAN地域に研究所を設立し、溶接・接合に関する科学技術の発展だけでなく人材育成も含めた社会の発展に貢献することを目指した研究所で、今後が大いに期待されています。

勝又先生から会場参加者へベトナムのお菓子が配られ、講演は和やかな雰囲気ですべて終了しました。ご参加の皆様には普段見ることのできないディープなベトナムを楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

令和5年度も「接合科学カフェ」を開催予定です。詳細が決まりましたら、研究所ホームページなどを通じてご案内させていただきます。来年度も接合科学カフェで皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



ゲストスピーカー 勝又 美穂子 准教授



カフェマスター 田中 学 接合科学研究所長



会場の様子